

学生が“社会にいいこと”をするラボ ～学生アイデアによるSDG・社会貢献の実現～

ラボの課題

学生のアイデアで社会によりサービス・商品を提供し、SDGsの実現や社会貢献を果たす。

春学期の活動報告

【瀬戸内の観光地域づくりの推進】

連携パートナー：向島ドック㈱



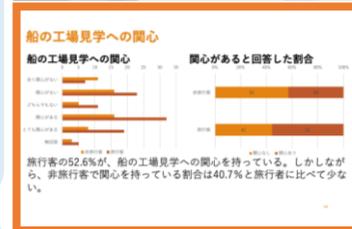
"せとうち"が世界に誇る製造業を観光コンテンツ化し、"せとうち"の技術・産業を世界にアピール、地域社会・経済をより良いものにする

尾道市の造船会社の工場見学を観光コンテンツ化検討

工場見学を体験し、観光コンテンツとしての課題やおすすめの点を企業に提言

尾道観光アンケート調査 (5月31日実施 154件取得)

尾道の観光客・地域住民を対象にアンケート調査を行い、尾道観光の魅力进行调查



【アリオ倉敷SDGsイベント】

連携パートナー：

セブン&アイ・ホールディングス(アリオ倉敷)



イベントで防災対策や環境問題を子どもも大人も楽しく学んでいただく

実施コンテンツ (実施日 6月15日 イベント参加者：110人)

防災レインコート

災害時に活用できる、ビニール袋のレインコートを作るワークショップを実施

防災グッズビンゴゲーム

ビンゴ形式で、避難時に本当に必要な災害グッズを考えるゲームを実施

再生備前の陶器販売

資源リサイクル備前焼のブランド"RI-CO"の展示販売を実施

環境カルタ

環境問題をテーマにしたカルタ遊びを実施



今学期の成果

- 尾道の造船業の観光コンテンツ化の提案、イベントでの防災・環境教育コンテンツの開発など、様々な企業と連携しつつ、優良なデータ取得や、イベント最大の来場者など、具体的な成果をあげることができた。
- また、SDGsが掲げる「質の高い教育」「住み続けられるまちづくり」「陸の豊かさを守る」といった目標の実現に向けて、社会貢献に資することができた。

今後の計画・目標

- 秋学期は“社会にいいこと”に向けた活動をより深化させることを目指す
- より多くの方に価値を提供するために、地域が抱える課題を発見・解決し、社会貢献を進める

担当教員：山口隆久、高橋良平

ポスター制作：川崎凌汰、市場弘記、赤木翔、鬮橋祐馬、波佐間彩夏